



各 位

2022年11月 1 日

会社名 日本酸素ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 濱田 敏彦  
(コード： 4091 東証プライム)  
問合せ先 IR部長 梶山 慶太  
(TEL 03 - 5788 - 8512)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年7月29日に公表いたしました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	950,000	107,000	105,000	67,000	65,000	150.18
今回修正予想(B)	1,160,000	115,000	113,000	70,500	68,000	157.11
増減額(B-A)	210,000	8,000	8,000	3,500	3,000	
増減率(%)	22.1	7.5	7.6	5.2	4.6	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	957,169	102,710	101,183	66,637	64,103	148.13

#### 2. 修正の理由

今回の修正は日本、米国、欧州、アジア・オセアニアの各地域のガス事業を合わせた売上収益が前回公表した予想を上回る見通しであることによるものです。これは主に円安による為替影響及び世界各地でのエネルギー価格の高騰、インフレに伴う販売価格の大幅な上昇によるものです。これに伴い、コア営業利益及び営業利益も前回公表した予想を上回る見通しですが、一部地域でコスト上昇と販売価格の上昇には時間差が発生しています。また、今後の見通しには不確実性が伴い、世界経済の減速により顧客需要が後退する懸念があります。

サーモス事業のセグメント利益は原材料費などの上昇の影響を受けていますがほぼ計画通りとなる見通しです。当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、支払利息や法人所得税の増加がありながらも増益となる見通しです。

なお、中間配当については、2022年7月29日に公表した予想（1株当たり18円）から変更はありません。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によっては、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上